



1月 ひなぎくだより



子どもたちの元気な声と共に3学期が始まりました。今年度も残りわずかですが、一日一日を元気に過ごしたいと思います ✨

郵便屋さんごっこ

1月から郵便屋さんごっこが始まりました。手紙を書いて、赤いポストに投函すると、お友だちに手紙が届くという遊びです。赤いポストに貯まった手紙は、にじグループのお当番さんが、それぞれのクラスのポストに配達してくれます。「赤いポストに入れる」「手紙届いた」と嬉しそうにやりとりをしています♪



氷づくり

水を入れた容器を園庭に置き、氷を作ったにじグループさん。ひなぎくグループの2人も氷を触らせてもらいました。「これは丸い」「つめたーい！」と氷遊びを楽しんだあと、赤いバケツを持ってきたA君。自分も氷を作ろうと考えたようです。水を汲んで園庭にセットしたあと、「氷になったかな〜」と、5分ごとにバケツに手を入れて確認していました。

次の登園日、朝一番に確認してみるも…凍っていません。なぜ凍っていないか、ヒントを探すために本を見てみることにしました。みんなで机を囲んで『こおり』の絵本を見てみると、冷凍庫に水を入れると凍ると書いてありました。「これしてみようよ」とA君。けれど、A君の赤いバケツは大きすぎて冷凍庫に入りません。「先生、おっかい冷凍庫買ってよ〜」とがっかり。その隣でBちゃんは「ペットボトルにする」と、ペットボトルを探し始めました。違う容器にすれば冷凍庫に入ることに気が付いたA君も、プラスチック容器を見つけてきて、水を入れ、そうっと冷凍庫まで運びました。

『水が凍らなかった』という事象に対して、容器を変えてみるのか、気温と氷の関係を調べるのか、冷凍庫を使うのか、どこに子どもの興味が向いていくのか、予想が付きませんが、その予想できなさを、私自身楽しみながら2人と過ごしています。子どもたちの興味が向いた方向に、一緒に向かいながら柔軟に手助けをしています。

冷凍庫で凍らせた氷を見て、中の気泡に興味を持つのか、色を付けたいと思うのか、かき氷にしたいと思うのか…。これからの展開が楽しみです♪

